

マルメ研修を終えて

早乙女歯科医院 勤務医
芹澤健太郎

今まで西先生やシャスティン先生の講演を聞く機会があり、スウェーデンの歯科事情については聞いていましたが、今回実際にマルメ研修に参加してスウェーデンの歯科界は社会制度、歯科衛生士の業務内容、大学での教育などが日本のものと違うことを感じる事ができました。20歳までの歯科治療の社会保障、リスクに基いたリコールなど興味深い事もたくさんありました。

エリクソン先生をはじめとする講師の先生による講義も、カリオロジーをエビデンスから臨床まで理解することが出来ました。要所要所にエリクソン先生のユニークなジョークが入っており、先生の人柄にも触れる事ができました。

マルメ市庁舎でのレセプションパーティーやパブリックのクリニックを見学する機会があったことや、エリクソン先生の用意していただいたランチやコーヒブレイクを堪能する事が出来、北欧の風土も味わう事ができ楽しかったです。

かつてスウェーデンでも”疑わしきは充填”の時代があったと聞きました。現在の日本はまさに診療報酬の為に治療をしているまさにその時代にいます。宮本先生が最後に”価値を決められた診療ではさらなる発展はない”と話されたように、さらなる歯科医療の価値を上げる為にはそこからの脱却が求められ、今私ができることは目の前の患者にスウェーデンで学んだ理念を持って向き合うこと、そしてその情熱を伝えることで患者の価値観を変えることだと思いました。

今回から参加者数が増えたので多くの先生方とお話しすることができ、研修についての理解も深められたと思います。このことは日々の診療を行っていく上でとても支えになりますし、今後お会いすることが楽しみにになりました。

マルメ研修で学んだ知識・哲学・情熱を胸に明日からの診療に携わっていきたいと思いました。今回はこのような機会を設けていただきありがとうございました。